おひざのうえで

（副園長の子育ておうえん通信）（2020 年４月）

せんりひじり幼稚園
副園長　　安達かえで

「こんなことを悩んでいます」シリーズ

お悩み①「子どものできていないところばかりが気になる」

距離が近すぎると一部分だけ見えて、全体像が見えなかったりすることってよくありますよね。親子関係も往々にしてそういうことがよくあります。なので、自分の子どものいいところを見逃してしまったり、気付かなかったりすることはよくあることです。

また、親は子どもを「ちゃんと育てたい」という思いが強いので、一生懸命子育てをしている人ほど課題（できていないこと）に気付き、それを何とかしたいと感じます。

だから、幼児教育は、親よりも客観的に子どものことを見てくれる人の方がうまくいきます。しかし、今のこの状況では、そんなこと言ってられないのでどうしたらいいでしょうか。

例えば、子どもがブロックを部屋いっぱいに出して、遊んでいたとします。「そんなにちらけなくても・・・。」「あとでちゃんと片付けるのだろうか・・・。」「どんどん足の踏み場もないぐらいになっていく。」と、散らか

っているブロックが気になり始め､「片づけなさい！」とつい叱ってしまうことがあるかもしれません。

　そんな時は、子どもの遊んでいる様子をよく観察してみてください。よく見ると、子どもは次に使いたい部品や必要なパーツを側に置いていたりします。それは､色んなパーツを広げて見ながら､作りたい物のイメージを膨らませ､そして必要な物を手元に置いて計画的に組み立てたりしています。それは､見通す力や構築する力が付いてきていると言うことです。それは素晴らしい力で､後々に数学的思考やや論理的思考に繋がって行くと思います。そう考えると､少々散らかっていても気にならなくなります。片づけるという力よりも､創り上げていく力を伸ばした方が後の生きる力に繋がるということですね。また、子どもは満足すると、自分で遊びを自分で「おしまい」にすることができます。出来上がったものを飾ってあとは片づけて「スッキリ！！」ができるようになるといいですね。

　子どもの姿は様々な捉え方があると思います。目の前の子どもの姿を二つの方向から見ることができたら、迷わず肯定的な方を優先させてください。

　でも、肯定的に見れない時もあると思います。そんな時はどんな状況か教えてください。別の角度から見るお手伝いをさせてほしいです。

　お悩みや迷いがある方は遠慮なく下記のアドレスまで～。

・・

子育てに関するお悩みがありましたら、下記アドレスまでどうぞ。

（必ずクラスとお名前を書いてくださいね。）

kaede@hijiri.ed.jp